



修二だより

学校評価(夏)報告号

京都市立修学院第二小学校

校長 天野 克彦

TEL. 075(781)5400

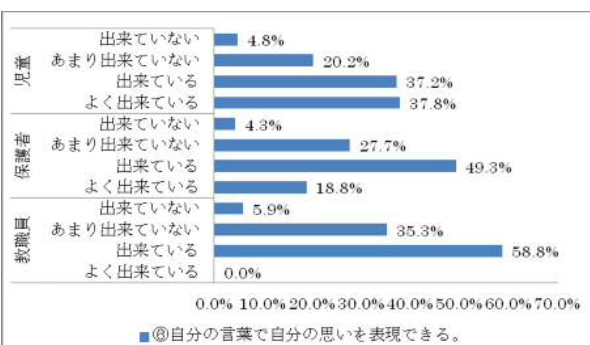
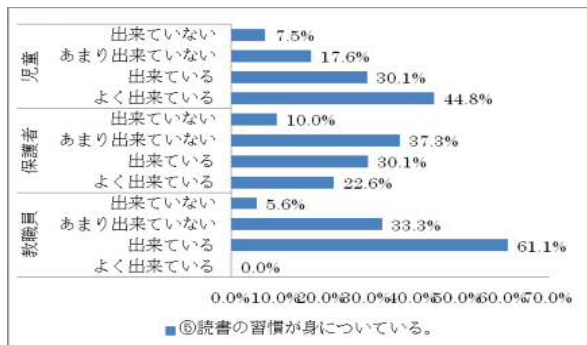
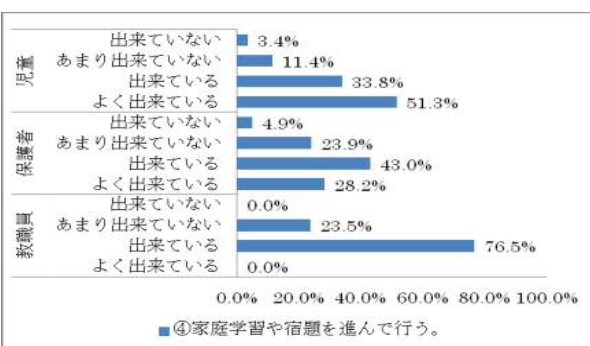
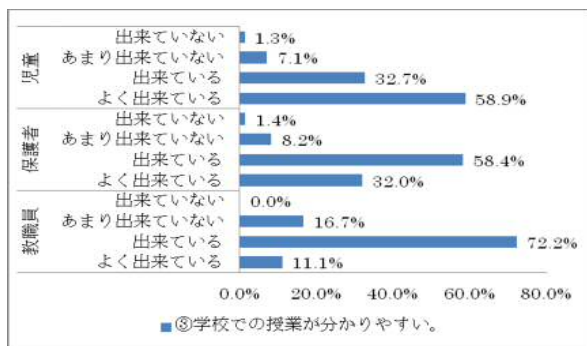
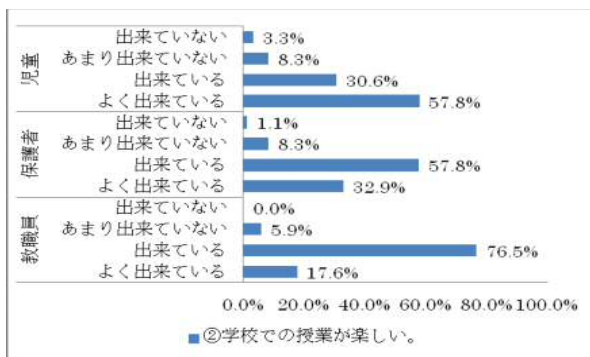
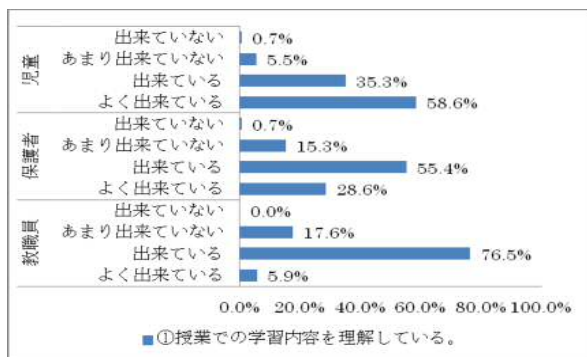
FAX. 075(791)5400

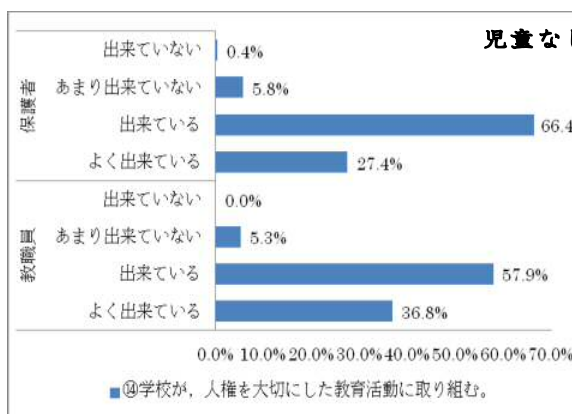
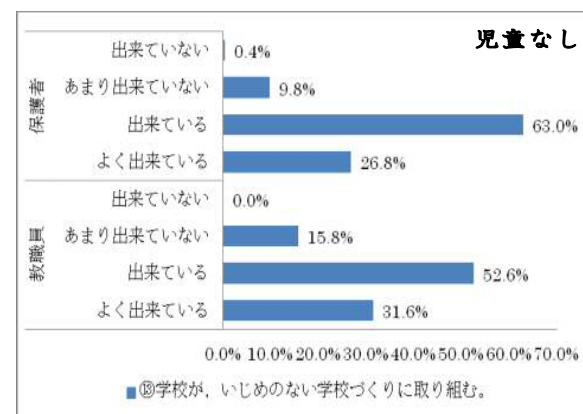
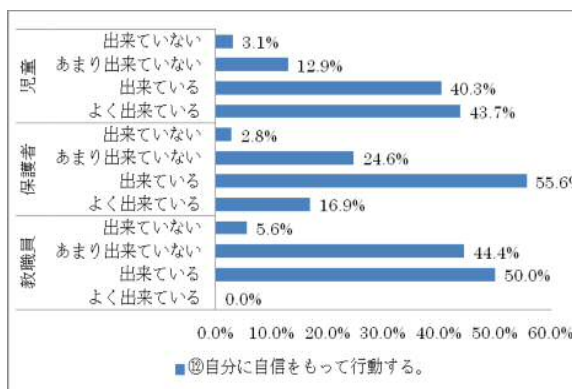
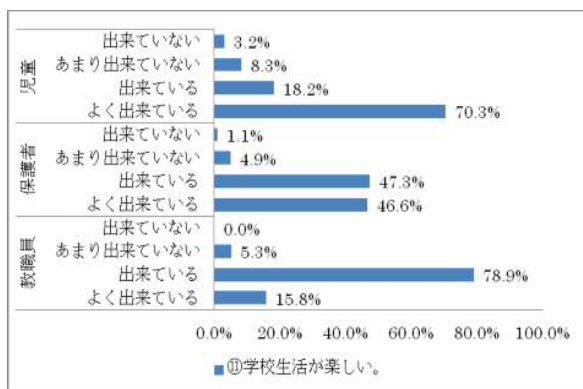
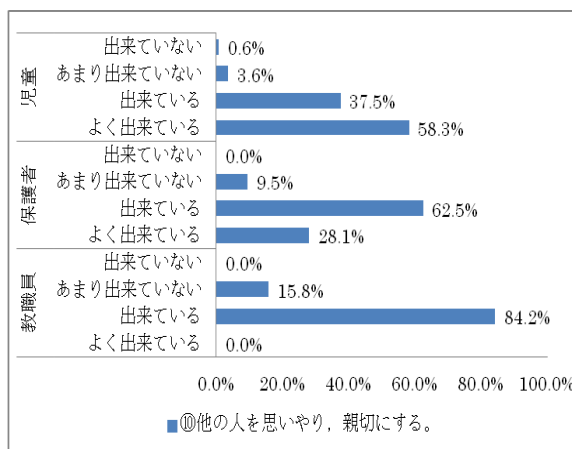
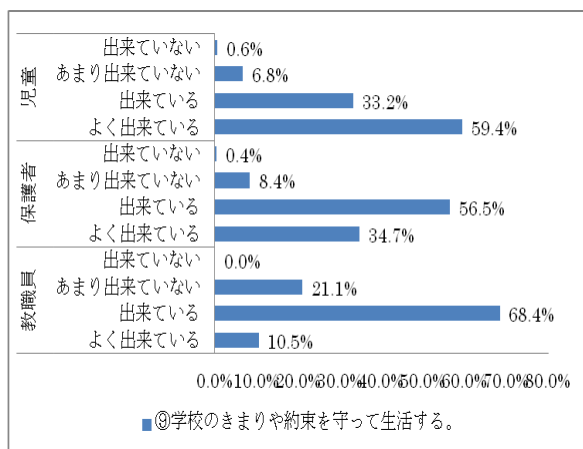
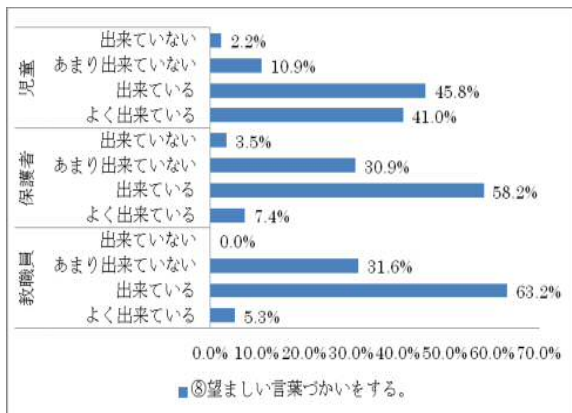
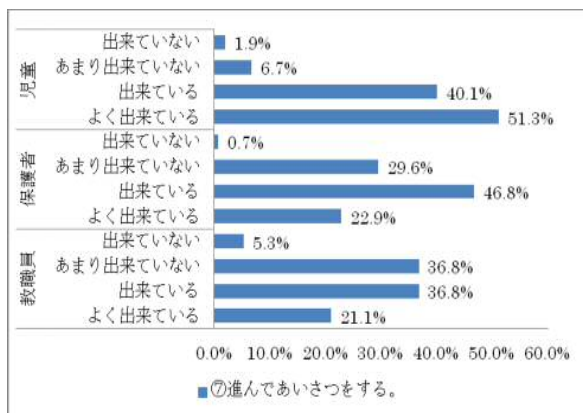


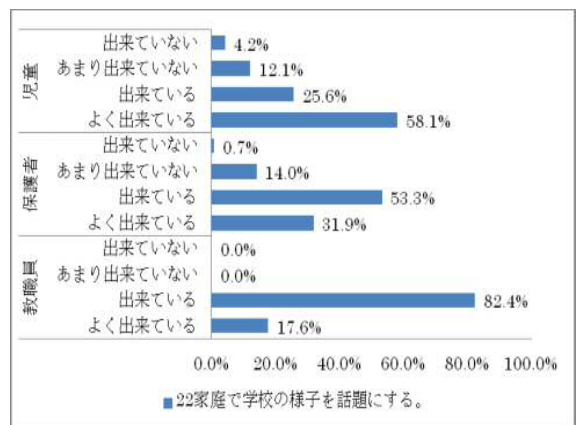
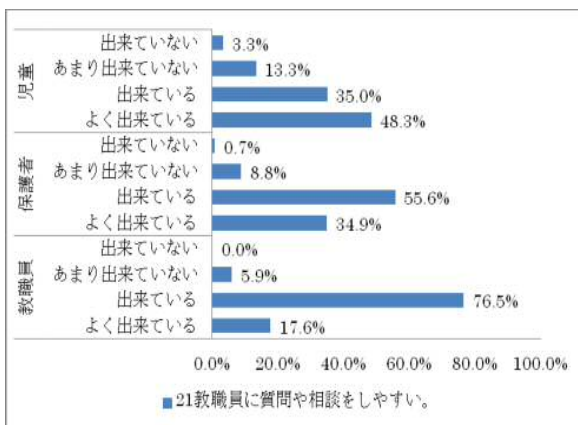
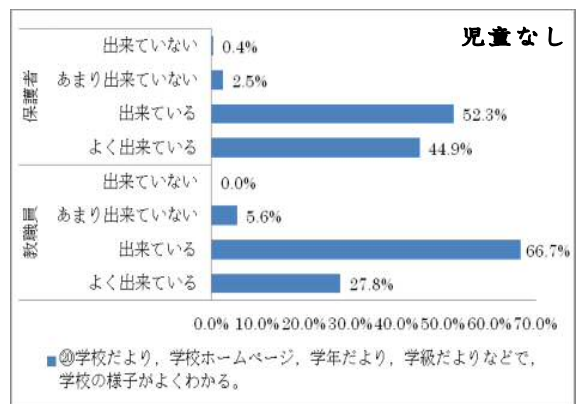
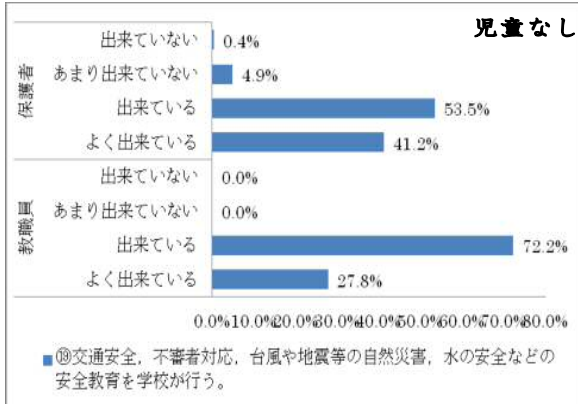
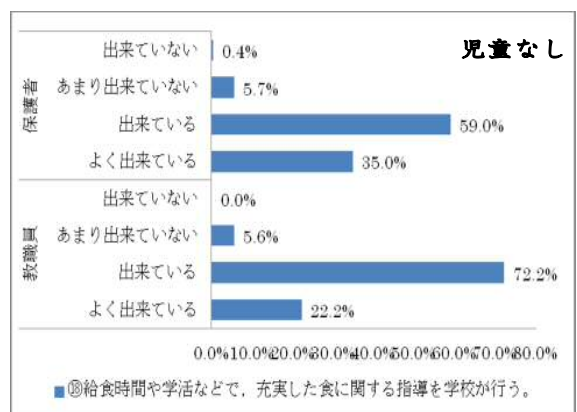
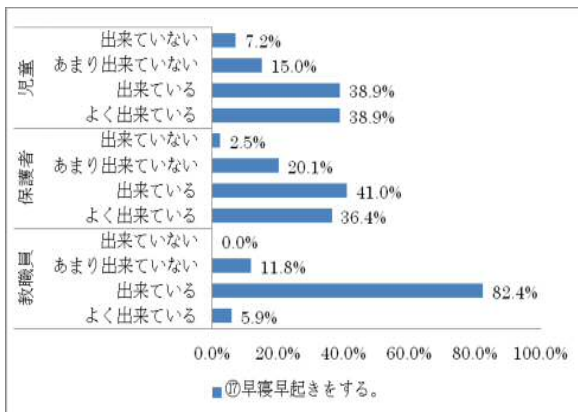
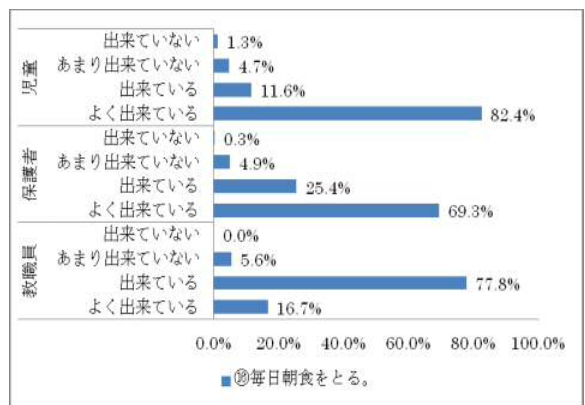
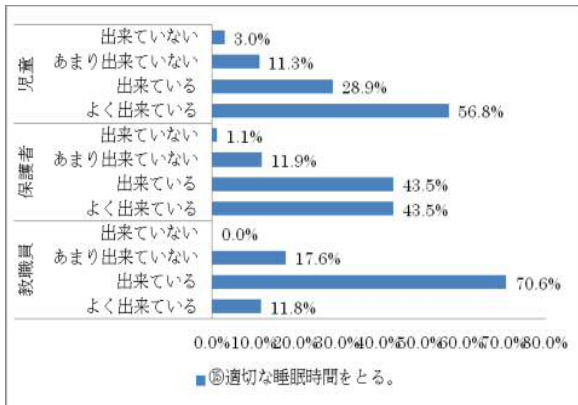
平成26年9月

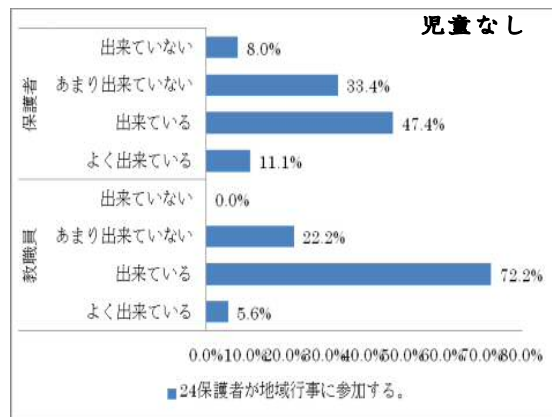
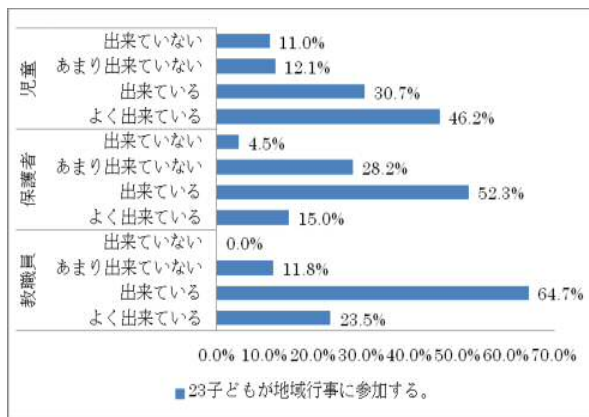
7月に行いました、学校評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。毎年夏と冬に、同じ内容の学校評価アンケートを、児童・保護者・教職員で実施して、修二小の取組を確認しています。保護者の皆様にはお手数をおかけしておりますが、お子様の学校生活を思い浮かべて確認していただくと共に、修二小の教育について考えていただき、お声を聞かせていただけることに感謝しております。ご協力ありがとうございました。できていることについてはさらに取組を推進し、できていないことについては、今一度取組を振り返り、改善を目指したいと思います。

なお、児童・保護者・教職員において若干質問文と評価文に相違がありましたが、この紙面では同じ言葉で表わしています。また、保護者の皆様と教職員には、重要度の項目も質問していましたが、紙面の都合上割愛させていただいております（分析には活用しております）。ご了承ください。









アンケートを見てみますと、①学習内容の理解、②授業の楽しさ、③授業の分かりやすさ、⑪学校の楽しさについて、高い割合で「よく出来ている・出来ている（よくあてはまる・あてはまる）」の回答がありました。様々な学力テストや学習状況の様子からも、学力が少しずつ定着してきている様子がうかがえます。子どもたちがしっかりと学校での学習に向かえているということが、この結果から見てとれます。しかし、教職員の回答結果が、保護者や児童のそれに比べて低い結果の項目がありました。教職員が自信をもって、分かる授業、楽しい授業をしている、ということを言えるような授業づくりを目指し、さらに教材研究等に精進していく必要があると思っております。

反対に、④家庭学習、⑤読書の習慣、⑥自分の思いを表現、⑦あいさつ、⑫自信の項目が課題として挙げられると思います。児童の思いと保護者・教職員の思いに大きな開きがあるものもありました。

それらの結果から、本校の児童は、総じて、『やるべき環境』では前向きにしっかりと取り組み、頑張る姿が見られるが、『自分から取り組む』というようなことには課題があるのではないかと思われまます。その課題点を改善していけるよう、職員会議等で取組を再検討しながら、学校改善に向かっていきたいと思ひます。子どもたちがさらに生き生きと過ごせる学校を目指し、今後も教職員一同精一杯取り組んでいきますので、今後ともご協力のほどどうぞよろしくお願いがいたします。

また、自由記述欄にもたくさんご意見を書いていただき、ありがとうございました。いただいたご意見を真摯に受け止め、改善すべき点については改善していけるよう検討していきたいと思ひます。

今後の取組等の詳細につきましては、後日お知らせさせていただきます。

この印刷物は、不要になりましたら
「雑がみ」としてリサイクルできます。
コミュニティ回収や古紙回収等にお
出してください。

